

「よく見れば」こんな自然が！

2015年1月28日

吉田 万佐敏

＜ 今年は1月下旬にニホンアカガエルの産卵が始まった ＞

日本で一番早い時期に産卵を始めるニホンアカガエルは、豊田市の自然観察の森のトンボの湿地では、例年2月上旬に産卵を始めています。今年は1月下旬に温かい日が続き雨も降っているため、多少早いかもしれないというわかすかな期待もあり1月28日にトンボの湿地に出向きました。マガモやダイサギ、カワウの姿に出合った上池で鳥たちをカメラに収めた後、となりのトンボの湿地に向かいました。期待通り、湿地の各所でニホンアカガエルの卵塊に出会うことができました。トンボの湿地内で41個の卵塊を確認できました。卵塊は昨夜産卵されたと思われる卵塊とそれ以前に産卵された卵塊と二種類確認できました。1月26日から27日にかけては気温も高く雨も降っているため、多分26日～27日にかけて産卵されたものと思われます。近年では最も早い時期の産卵です。

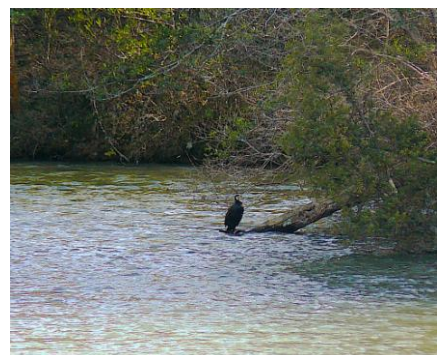
でも、28日からまた寒い日が続くようなので、今後続く産卵はしばらくお休みと予想されます。



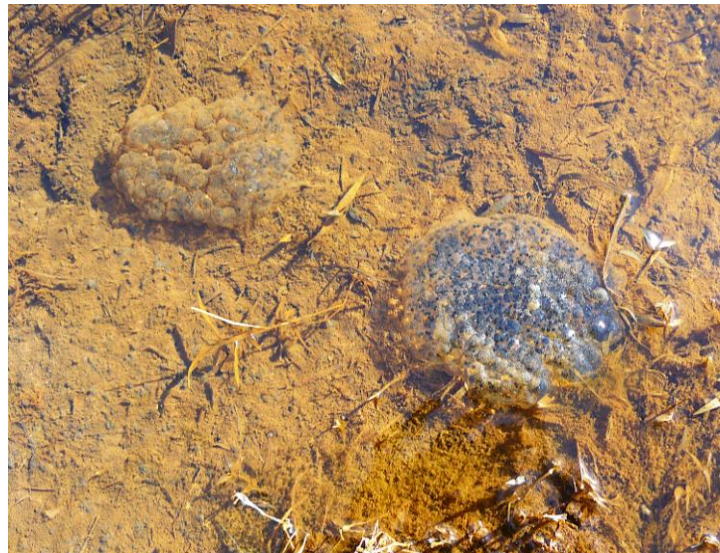
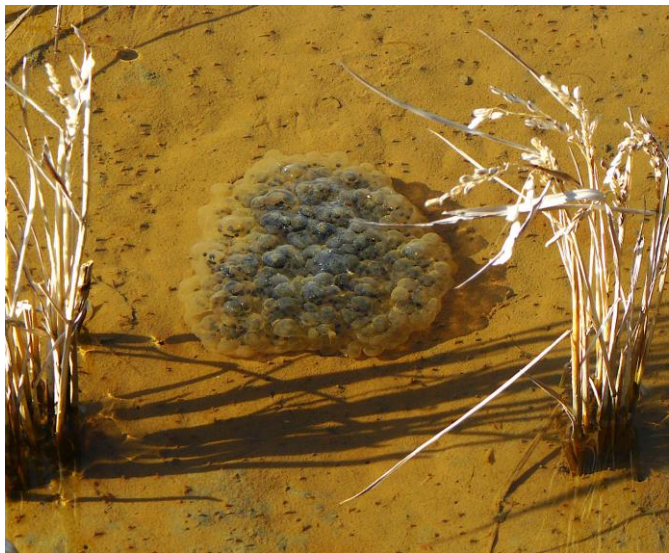
マガモ



ダイサギ



カワウ



ニホンアカガエルの卵塊

